

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2	地域における知名度が少なく、近隣の方々以外の交流が少ない。	より多くの方に施設の事を知っていただき交流を深めたい。	餅つきや夏祭りなど施設での催しごとの際に事前に自治会の回覧板と一緒に開催日程を配ったり、勉強会や地域の催しごとにも積極的に参加し認知症やグループホームについて多くの方に知っていただく。	12 か月	地域の合同避難訓練に参加、12月に行なわれる餅つきのビラを回覧版に挟ませていただく予定
2	4	運営推進会議の参加人数が増えない。	運営推進会議に多くの方に参加していただき、地域密着・地域貢献できる会議を開く。	系列事業所の運営推進会議に参加したり、また参加してもらい、また多くの地域の方に会議に参加していただけるよう地域の行事など顔つなぎを行なう。	6 か月	
3	8	権利擁護のパンフレットが置かれていない。	玄関に権利擁護のパンフレットを設置し、施設の勉強会や研修で権利擁護について勉強するなど誰でもが権利擁護について知識を深められる環境を作る。	区役所から権利擁護に関するパンフレットをいただき玄関に掲示する。成年後見制度でお世話になっている弁護士さんに権利擁護について勉強会をお願いするなどして権利擁護の知識を深める。	2 か月	パンフレットの設置
4	10	運営推進会議に参加されるご家族が限られており、参加されていないご家族への情報開示や意見の聞き取りが行なわれていない。	より多くのご家族に施設での取り組みについて知っていただき、ご意見を頂き反映させる。	運営推進会議に参加できないご家族には議事録を郵送で送付したり、出欠届けにご意見が書ける様に工夫しより多くのご家族のご意見が反映できるようにする。	6 か月	会議に参加できないご家族への議事録の送付
5	37	避難訓練への地域に方の参加が無い。	日頃の訓練から地域の方と連携をとり火災や地震の際に落ち着いて行動できるようにする。。	地域の避難訓練などに参加し、ご近所とのコミュニケーションを日頃からとっておく。会議の際に避難訓練を行なうなど地域の方に訓練を行う姿を見ていただく。	12 か月	地域の合同避難訓練に参加

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()